

めでいかすとり
Médicastre



「水田の朝焼け」

一般社団法人鶴岡地区医師会 第104回定時総会

日時：令和元年5月31日(金) 19:00～
場所：鶴岡地区医師会館 3階講堂

堀内議長：定刻となりましたので、一般社団法人鶴岡地区医師会第104回定時総会を開催します。最初に資格確認をお願いいたします。

御橋事務局長：資格確認についてご報告いたします。総会員の議決権者数173名、19時現在の出席者数27名、委任状の提出者95名、計122名となり定款第19条総会の成立に必要な過半数の出席および議案第2号の決議に必要な3分の2以上の出席を満たしておりますので、本総会は成立いたします。

堀内議長：それでは会長挨拶を土田会長よろしくをお願いいたします。

土田会長：はじめに、ご多忙の中、一般社団法人鶴岡地区医師会第104回定時総会にご出席を賜りました会員の皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

本日の総会では、平成30年度の会務報告、公益目的支出計画実施報告、令和元年度事業計画ならびに正味財産増減予算報告に引き続き、平成30年度決算、総会の開催時期の変更およびそれに伴う定款の改正案、令和元年度会費賦課（案）の議案3件についてご審議いただきます。担当役員一同、わかりやすく簡潔な説明に努めるべく準備をしてこの会に臨んでおります。慎重審議の上、ご承認賜りますようお願いして、挨拶といたします。

堀内議長：ありがとうございました。続きまして議事録署名人の選出に移らせていただきます。

どなたか立候補される方はいらっしゃいますでしょうか。どなたもいらっしゃらないようですので、こちらから指名させていただきます。鈴木伸男先生、真島吉也先生の両先生をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。それでは次第に

沿って進めて参りますが、円滑なる進行にご協力くださいますようお願いいたします。では平成30年度会務報告について総務担当の小野副会長をお願いいたします。

小野副会長より説明（略）

平成30年度に亡くなられた渡部直哉先生、藤吉欣也先生、今立元先生、五十嵐博之先生、本年5月に亡くなられた佐久間正昭先生に哀惜の意を表し一同黙祷

堀内議長：ありがとうございました。只今の報告にご質問はありますでしょうか。では次に平成30年度公益目的支出計画実施報告書について、小野副会長よろしく申し上げます。

小野副会長より説明（略）

堀内議長：ありがとうございました。公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書について、監事をお願いいたします。

中目監事より説明（略）

堀内議長：ありがとうございました。只今の説明にご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。では、続きまして令和元年度事業計画、正味財産増減予算書について、小野副会長申し上げます。

小野副会長より説明（略）

堀内議長：ありがとうございました。ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。では報告について終了いたします。

続きまして6.の議案に入ります。議第1号 平成30年度決算承認の件について、最初に平成30年度各会計の報告を担当理事よりお願いいたします。質問などは後程一括してお受けしたいと思います。最初に一般会計を総務担当の小野副会長よろしく申し上げます。

小野副会長、本田理事、石原理事、福原副会長、武田理事、上野理事より説明（略）

堀内議長：ありがとうございました。次に財務諸表について、小野副会長お願いいたします。

小野副会長：総会において貸借対照表および正味財産増減計算書（損益計算書）について承認をいただくことが必要でございます。貸借対照表、平成31年3月31日現在の鶴岡地区医師会の資産と負債およびその内容になります。それぞれ前年度に比べましてⅠ資産の部、流動資産合計が1,577万6千円減、固定資産合計は5,248万1千円減、資産合計は6,825万8千円減の39億8,044万1千円になります。Ⅱ負債の部、流動負債合計は3,105万4千円減、固定負債合計が2,437万円増、以上負債合計は前年比668万4千円減の17億9,441万1千円です。Ⅲ正味財産の部、合計は6,157万3千円減の21億8,603万円となります。負債および正味財産の合計は資産合計と同額になります。続きまして平成30年度の正味財産増減計算書について提案させていただきます。昨年度1年間の正味財産の増減となります。Ⅰ一般正味財産増減の部、1. 経常増減の部、経常収益、④事業収益は各会計の合計になります。事務委託料事業収益は主に一般会計のコホート包括調査のため906万6千円増になっております。合計では前年に比べて3,291万2千円増、⑤受取補助金等は主に湯田川温泉リハビリテーション病院の人件費相当額の補助金の増によりまして753万9千円の増、以上、経常収益計が1,194万4千円増になります。経常費用①事業費、給料手当から福利厚生費まで主に人件費の関係になりますが3,254万円の増、減価償却費が675万5千円減、租税公課が86万6千円増。②管理費の合計を合わせました経常費用合計額が5,024万1千円増になります。以上、当期経常増減額が前年に比べまして3,829万7千円減。経常外増減の部を合わせました当期一般正味財産増減額は前年度に比べまして3,666万円減、期首残高を加えた期末残高が5,391万円減。Ⅱ

指定正味財産増減の部、当期の指定正味財産増減額は97万4千円減、期首残高を加えました期末残高が766万2千円減、以上、Ⅲ正味財産期末残高は6,157万3千円減の21億8,603万円となります。資料の16ページ以下に財務諸表に対する注記、附属明細書等がございますのでご覧いただければと思います。

堀内議長：ありがとうございました。それでは、監事監査報告を監事よりお願いいたします。

阿部監事より説明（略）

堀内議長：ありがとうございました。これまでの各会計の報告、財務諸表に対しご質問等いかがでしょうか。

齋藤壽一先生：公益目的支出計画実施報告書の10ページ、みずばしょうの事業内容17年の3月改正の介護老人保健施設サービス100床ですが、先程96床に減っていると聞いたのですが、これは変更しなくていいのですか。

小野副会長：総務担当の小野です。この事業内容につきましては届け出た時点のものを記載するという決まりがございまして、その後状況が変わっても同じ内容を記載し続けるようでございます。

齋藤壽一先生：了解しました。もう一点、固定負債が増加していますが退職給付手当が7千万ほど増額になったという理解でよろしいですか。

小野副会長：はい。ご指摘の通りです。

齋藤壽一先生：ありがとうございます。

堀内議長：他に質問のある方はいらっしゃいますか。それでは、議第1号、平成30年度決算承認の件について、これを承認することに賛成の方の挙手を求めます。賛成の方は挙手をお願いいたします。

（挙手多数）

挙手多数で平成30年度決算について承認されたものと認めます。次に議第2号、総会の開催時期の変更およびそれに伴う定款改正承認の件について小野副会長より説明をお願いいたします。

小野副会長：議第2号総会開催時期の変更およびそれに伴う定款改正承認の件。総会の開催時期の変更およびそれに伴う定款改正について承認を求めます。令和元年5月31日一般社団法人鶴岡地区医師会会長土田兼史。総会第14条の2、総会は定時総会として毎年、毎年度6月までに1回開催するほか必要がある場合に臨時総会を開催することができる。従来の定款では定時総会を5月に1回開催すると書かれております。決算書類等の準備をするのに、5月末までに準備することが困難な状況になっており、正確を期して準備をするためにも6月までに定時総会を開催するに変更させていただければということで今回提案させていただきました。よろしく審議のほどお願いいたします。

齋藤壽一先生：これは6月末日までですか。

小野副会長：6月末日までに決算書類その他を提出しなければなりません。6月までとしておりますが、6月のできるだけ早い時期には定時総会を開かないといけないと考えております。

堀内議長：他に質問のある方はいらっしゃいますか。

それでは総会の開催時期の変更およびそれに伴う定款改正承認の件についてお諮りいたします。賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手多数)

挙手多数につき、決議に必要な3分の2以上の賛同を得られたものとし議第2号総会の開催時期の変更およびそれに伴う定款改正承認の件については承認されたものと認めます。

続きまして、議第3号令和元年度会費賦課(案)承認の件について小野副会長より説明をお願いいたします。

小野副会長：議第3号令和元年度会費賦課(案)承認の件、令和元年度鶴岡地区医師会会費賦課(案)について承認を求めます。令和元年5月31日一般社団法人鶴岡地区医師会会長土田兼史。内容につきまし

ては前年度と同じ内容でございます。よろしくご審議いただければと思います。

堀内議長：ありがとうございました。この件について、ご質問等いかがでしょうか。

それでは令和元年度会費賦課(案)の件についてお諮りいたします。賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手多数)

挙手多数につき議第3号令和元年度会費賦課(案)は承認されたものと認めます。

堀内議長：7.の協議に入ります。事前に、長畑守雄先生より提案が二つ届いております。

一つ目は「医師会施設で高額医療機器の導入・更新をする際には、当該機器に詳しい会員から十分に意見を聞くようにしてはいかか。機器の性能やメーカーごとの特性、価格情勢などに詳しい人間が医師会にもおられるはずですから活用すべきではないか」という内容です。

二つ目は、「医師会勉強会において、当日の座長は講師の先生に講演を依頼した会員が務めた方がいいのではないか。今まで各地に呼ばれ講演した経験では、大概は呼んでくれた顔見知りの先生が座長だった。昨年講師の先生を一人お呼びした際にとっても違和感を覚えた」という内容について協議を求められています。それでは、一つ目の提案について小野副会長お願いします。

小野副会長：医師会機器選定委員会の担当をしておりますので私からお答えいたします。長畑先生から貴重なご意見をいただきありがとうございます。今年度に向けて湯田川温泉リハビリテーション病院のMRIの更新を計画し、検討を行いました。高額医療器の導入もしくは更新に関しては医師会の中で機器選定委員会がございまして、担当する関係理事、職員の間で従来検討してございました。今回長畑先生から貴重なご意見をいただきましたので、必要であればその中に会員の有識者の先生をお願いをしてご参加いただけるようにしていきたいと思っておりますが、詳しい内容、今後の件

については理事会の中で検討させていただきたいと考えております。

堀内議長：それでは、引き続き、二つ目の提案に対し、土田会長お願いします。

土田会長：担当理事が今回欠席しておりますので私からお答えいたします。もとより私たちの医師会でも医師会勉強会における座長は講演者を紹介してくださった方、あるいは仲介の労をとってくださった方に座長をお願いするのを慣例としております。一部例外もあるようですが、それはその方が座長を辞退された場合です。今回の事例に関しましては、私たちの完全な手落ち・手違いでございまして、ご不快の念を持たれたことに関してはただただお詫び申し上げるしかございません。誠に申し訳ございませんでした。今後このようなことがないように十分注意しながら進めていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

堀内議長：只今の回答に対し、長畑守雄先生いかがでしょうか。

長畑先生：ご丁寧な説明ありがとうございました。2つの項目とも十分納得させていただきました。

武田理事：ひとことよろしいでしょうか。

堀内議長：どうぞ。

武田理事：長畑先生の一番目のご質問に関しては、今回のMRIの機器の購入がきっかけだったと思いますので、報告いたします。当院のMRI導入に当たっては大きな制約がありまして、新たな建物を建てることはできない、また重さも今と大体同じものとの制約がありまして、それには必然的にほとんど今のMRIしかない状態でした。先生のご提案はもちろんその通り大事なことだと思いますが、今回のMRIの導入に当たっては選択肢がほとんどなかったということが正直なところです。

堀内議長：長畑先生いかがでしょうか。

長畑先生：機種選定の理由に関しましては十分納得のいくことなのですが、例えば荘内病院が新しいMRIを買うのであればどんな機械でもいくら買おうと知ったことではな

いし、言える筋合いではないですが、医師会の施設が買うのであればやはり影響を小なりとも受けるであろう医師会の会員に何らかの事前説明があって然るべき事例ではないのかなと思うのですがいかがでしょうか。一切知らない間にこういうものを買うことになりましたとうわさだけが聞こえてきたというのはちょっと不信感をもったのであえて言わせていただきました。

堀内議長：小野副会長いかがですか。

小野副会長：長畑先生のおっしゃる提案、その通りだと私も思っております。従来は医師会の中で役員、担当理事のところで大体決めていたということでございます。ですから、どのくらいの機器までどの範囲でというのはなかなか線引きが難しいことだと思うのですが、高額な機械である場合、もしくは地区の会員の先生方とある意味競合する可能性のある医療機器などについては会員の先生方に事前にご説明するべきであろうと私も思います。なるべくそういうふうな形で進めさせていただけるように理事会で検討させていただければと思います。

堀内議長：この件についてはよろしいですか。

長畑先生：はい。

堀内議長：ありがとうございました。ほかに何かご意見ご提案等ありましたら他に協議事項などありませんでしょうか。それではこれをもって、一般社団法人鶴岡地区医師会第104回定時総会を閉会します。どうもありがとうございました。

(午後8時20分 閉会)

観桜会、病・医院永年勤続者表彰式

日時：令和元年6月7日(金) 19：00～
場所：ベルナール鶴岡

【永年勤続者表彰受賞者】

齋藤胃腸クリニック	羽根田 稔さん	宮 原 病 院	工藤 静子さん
齋藤胃腸クリニック	松浦ゆかりさん	宮 原 病 院	佐藤 留美さん
齋藤胃腸クリニック	田村 美恵さん	真 島 医 院	梅木 隆子さん
滝 沢 眼 科	上林 典子さん	真 島 医 院	雨宮多美子さん
滝 沢 眼 科	濱口 友理さん	三 井 病 院	中村 徳一さん
今立小児科医院	折笠 織江さん	三 井 病 院	鈴木 美佳さん
宮 原 病 院	押井 美絵さん	たんぼぼクリニック	刃持 涼子さん
宮 原 病 院	石川 明美さん	鶴岡地区医師会	佐藤 幸子さん
宮 原 病 院	丸山千恵美さん	鶴岡地区医師会	伊藤 信之さん

謝 辞

本日は永年勤続者表彰を賜りまして誠にありがとうございます。受賞者を代表して一言御礼を申し上げます。

1999年、三井病院への勤務初日、緊張しながら銀座通りへ向かって歩いたのを思い出しますが、あれから20年も経つのか、というのが率直な感想です。20年の間に病院にも多くの事がありましたが、どの時も卓弥先生、直弥先生のご指導、ご助言に支えられ、また職場の同僚の協力もあって今日まで三井病院の一員でいられたことに感謝いたします。

また、鶴岡地区医師会の皆様にも、日々の業務におきまして多くのご協力、ご助言を頂きまして感謝申し上げます。今後ともご指導いただきますようよろしくお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

医療法人なごみ会 産婦人科・小児科三井病院 中村 徳一



去る6月7日(金)、観桜会、病・医院永年勤続者表彰式がベルナル鶴岡で開催されました。

はじめに土田兼史会長からご挨拶があり、平成30年度における医師会各事業の進捗状況と5月31日(金)に開催された第104回定時総会が無事に終わり、残り一年となる医師会会長としての職務を全うしたいとお話がありました。

病・医院永年勤続者表彰式では病・医院および鶴岡地区医師会に長年勤務され、地域医療に貢献された15名(ほか欠席3名)の方に永年の功績を称え、土田会長から表彰状と記念品が贈呈されました。その後、受賞者を代表して三井病院 中村徳一様からお礼の言葉がありました。

引き続き、土田会長から新たに当地区医師会会員になられた6名の先生方のご紹介がありましたが、残念ながらご多忙により新会員の先生方の出席はありませんでした。

その後、副議長 三井卓弥先生の乾杯のご発声で祝宴に入り、おいしい季節のお料理とお酒を堪能しながら楽しい歓談のひとときを過ごしました。

最後は福原晶子副会長から閉会のご挨拶をいただき、庄内の医療の発展を祈り一本締めで閉会となりました。

鶴岡准看護学院

五十嵐 くみ子



鶴岡地区医師会勉強会抄録

日時：令和元年6月5日(水) 19：00～
場所：鶴岡地区医師会館 3階講堂

『慢性腎臓病とウレミクトキシン』

新潟大学医歯学総合病院 血液浄化療法部
准教授 山本 卓 先生

慢性腎臓病（chronic kidney disease, CKD）は一般診療でよく遭遇する疾患であり早期発見と専門医との連携が重要である。CKDを適切に管理することは透析療法の導入のみならず心血管イベントの発症抑制も期待できる。しかしながら実臨床では高齢化、生活習慣病などを背景にCKDが進行し、透析療法が必要となる症例が依然として多い。

CKDに対し血液透析が本邦で行われて50年以上が経過した。黎明期では生命維持が目標であったが、現在ではCKD関連疾患の予防を含めた透析患者のQOLやADLの保持が重要な課題となっている。その問題の一つがウレミクトキシンの不十分な除去である。ウレミクトキシンは水溶性小分子、中分子と蛋白結合分子に分類される。小分子、中分子の除去は透析治療の進歩により改善したが、蛋白結合分子はその蛋白結合性の高さから除去が不十分である。近年の臨床研究により蛋白結合分子の毒性が明らかになり、我々はそれらを効率的に除去する治療法の開発を試みている。

第17回 鶴岡地区医師会親睦ゴルフコンペ

日時：令和元年 5月 26日(日) 9:00 アウトスタート
 場所：湯の浜カントリークラブ

鶴岡協立病院 内科 佐藤 満雄

親睦コンペは、5月なのに数日間日本全国真夏のような雲一つ無い快晴で、熱中症により学童が運動会の練習中に病院に搬送されるニュースが報道される26日に湯野浜カントリークラブで開催されました。昨年より6人増の14人の参加で盛況でした。参加者全員で記念撮影の後、暑さを心配することもなく、当日は湿度も適度で大変快



適で申し分のないゴルフ日和で、あまり汗もかかず、プレーもスムーズで待ち時間もなくOUTコースは進行しました。私たちの第2組は最高齢の私と古希過ぎたばかりの菅井さんがゴールドティーから、30歳代と見受けられる佐藤篤さんとさらに若い富樫さんがレギュラーティーからプレー開始しました。若い方の感じは兎も角、私は40歳以上の年齢差を意識せずプレーできよかったと思います。私はスイング、インパクトのミスと思われるスライスで、出だしの1

番と6番で3つのOBを献上し沈んで前半終了し、楽しい昼食休憩になり美味しい生姜焼き定食でエネルギー補給につとめました。昼食後、インコースでは挽回を狙い11、12、18番ホールでパー、12番でニアピン、18番でドラコンのアトラクションの権利を得てよいペースで推移しました。後半は心地よい微風にも癒され素晴らしいゴルフ日和でした。この間、同伴の菅井さんは安定したプレーで何回も長いパターを決め、18番ではグリーン周りからチップインでし

競技方法：ダブルペリア 打数制限：ダブルパー HDCP上 男：36.0 女：36.0 HDCP下 男：0.0 女：0.0

順位	競技者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	佐藤 満雄	53	46	99	25.2	73.8
準優勝	田村 優	49	47	96	21.6	74.4
3位	五十嵐敬郎	48	46	94	19.2	74.8

組み合わせ

1組	伊藤 末志	石原 良	中村 誠一	坂田 正昭
2組	佐藤 満雄	菅井 健	佐藤 篤	富樫 研輔
3組	五十嵐敬郎	宮原 信弘	田村 優	
4組	三原 一郎	今野 和恵	福原 晶子	

た。スコア100を切ったことが無いという篤さんは、11番ホール第1打でグリーン前のバンカー脇の花道に着けバーディを決めたのには初めて見せていただきお見事。若々しい富樫さんのヘッドスピードは素晴らしく速く、今後大いに期待できます。

表彰式・懇親会は、17:30から寿しの長三郎で行われました。ドラコン2本、ニアピン4本のアトラクション表彰後に成績発表が進み、3位、準優勝の発表後、グロス5位の私の名前がまだ呼ばれません。まさかの優勝です。平成7年以来の2回目の優勝です。

ダブルペリア方式ではスコアが競っていると珍しくこんなこともおこるのです。この競技方式は、経験の少ないプレイヤーでもハンディありで参加でき、悪いスコアを緩和するため最も

公平性が担保された方式とされているそうです。隠しホールのより少ないショートとロングホールでよいスコアが出せたことが、今考えると優勝の原因であるようです。

また初参加の方々がこの医師会コンペで自己のベストスコアを更新されたことや、ベストグロスに輝いた坂田さんが、11番ホールで後続の組のドライバーショットが素晴らしい飛距離で気になったのか自身のバンカーショットでホームランしたこと、また宮原先生がワインを提供してくださったことで歓談が大いに盛り上がりました。このようなコンペを開催された鶴岡地区医師会会長の土田先生、コンペの実施、参加、表彰式の開催迄お世話いただいた保険福祉委員長の福原先生、医師会総務課の皆様大変有難うございました。



准看護学院研修旅行

日時：令和元年5月17日(金)
場所：国立療養所 東北新生園 (宮城県)

今年、宮城県登米市にある国立療養所東北新生園に日帰り施設見学をしてきました。医療社会事業専門員の方からハンセン病と人権について講義を受け、園内・しんせい資料館の見学、最後に霊安堂へのお参りをさせていただきました。講義と施設見学を通し、命の尊さやハンセン病の歴史の重みを知り、これから医療に携わるものとして一人一人が人権を守る大切さを考える貴重な機会となりました。



鈴木 春香

園内はとても広く一つのコミュニティーのようになっていました。柵や塀がない事、町道が通っている事、地域に開放されている事など地域に開かれている施設でした。全ての療養所が地域との関係性が良いわけではなく珍しい事だと説明を受け、これまでのハンセン病の歴史の中にある差別や偏見を感じました。病気は治療薬で治すことができますが、差別や偏見による心の傷は治すことができないものであり、病気に対する正しい知識を学び、理解することが大切だと学びました。今回の研修で学んだ事、感じた事を今後の学習と自身の生活にもいかしていきたいと思います。

本間 涼歩

ハンセン病について勉強するまでは、どんな病気なのか分かりませんでした。事前学習を行い、施設見学をさせていただき、病気のことだけでなく偏見や差別についても考える機会になりました。偏見や差別を減らすためには、一人一人がハンセン病について正しく理解し、思い



やりを持って接すれば一緒に暮らすことができると思います。人を人として接し、人権を尊重し合うことで病名を隠さず、暮らしやすい社会になると思います。そのために、まずは自分がハンセン病についてしっかりと理解することが今できることだと思いました。

武田 真侑

施設見学を通して、事前学習では学べなかったハンセン病の歴史や暮らしの中での工夫など多くの事を学び、理解を深めることができました。療養所内には時間を知らせるための盲導鈴や弱視の方のための白線があり、入所者の方が過ごしやすいように配慮されていました。また、病気のために多くの方が差別で苦しんでおり、療養所に入所した殆どの方が名前を変えて家族に迷惑がかからないようにし、入所したことを誰にも知らせないと知りました。これから自分が准看護師として働いてハンセン病の方と接することは本当に少ないと思いますが、病気のために多くの方が差別されてきたことを忘れず、医療の知識を深めていきたいと思っています。



表 紙

「水田の朝焼け」

真柄 博志

年をとると自然と早起きになってきて、早朝の研修が日課になってしまいました。

桜の花が終わり、今年は朝焼け狙いの写真撮影がしばらく続きました。その時の一枚で赤川の堤防から三川側を見ての撮影です。夜明けのほんの1～2分間の勝負になります。

令和元年5月16日 早朝撮影

編 集 後 記

この度、山形県沖地震の被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。地震発生時、私は、自宅二階の寝室にある机で准看護学院の講義資料を作っていました。突然の揺れと棚がきしむ音に頭が真っ白になり、数秒間何も出来ず固まっていたのですが、隣のベッドでスヤスヤ眠っている娘をすぐに抱きかかえ、とりあえず一階に下りました。妻と協力し懐中電灯や着替えの服などを集めながらすぐにテレビをつけました。そこで山形県沖で地震が起きたことを知り、津波の情報もあったため緊張しながら次の揺れに備えていました。その後も単発的な小さな揺れが時々あったので不安を抱えながら次の日を迎えました。翌朝、部屋の片づけをした後、いつもより早めに医院に向かいましたが、幸い大きな被害はなく通常の診療を行うことができました。


復興のために集まって下さったボランティアの皆様、建物被害や土砂崩れ、道路修復などのための費用を寄付して下さい下さった全国の皆様、そして地震直後からリーダーシップを発揮されている行政の皆様にはとても感謝しております。地域によっては自宅損壊などの大きな被害も出ており、これまで通りの生活を取り戻すまで不安な日々を過ごされている方もいらっしゃると思いますが、今後も余震や土砂崩れを起こすような大雨などなく、皆様がなるべく早くいつも通りの生活を送れるようになることを祈っております。

(渡邊 秀平)

編集委員：渡邊秀平・小野俊孝・三科 武・佐久間正幸・木根淵智子・中目哲平

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jp

ホームページにも掲載しております  URL <http://www.tsuruoka-med.jp>